

新線北側の歩道 防犯灯 設置へ

駒木へ
行政の光を



小田 桐たかし

日本共産党市議会議員

住みやすさまちづくり「二階」に取り組みますよ

議会ではじめて必要性を認めさせた
日本共産党 小田桐たかし市議の追求
「新線北側道路の暫定歩道に防犯灯を」との声を住民から寄せられた小田桐市議。県・市交渉を元に、市議会でも取り上げました。
県・市がお互いに責任を押し付けあい、自治会任せとすることを批判し、改善を求める中で、「歩行者の安全確保についてには改善の余地がある」と市として初めて必要性を認めました。さらなる追求に、「大規模な道路に自治会が防犯灯を設置した例はない」と回答。自治会任せにしないことを確認させました。



住民の声と運動が行政を動かした
「来年度、市として設置する」と市が回答
日本共産党流山市議団が行ったH20年度予算要望に対して、駒木地区新線北側に整備された暫定歩道に「来年度防犯灯を市として設置する」と回答がありました。
地域住民の声と運動が行政を動かし、実現させた成果です。引き続き、住み続けられる駒木へ、ご一緒に取り組んで生きましょう。